

ふれんど通信

第18号

発行 平成26年2月28日 児童養護施設ふれんど

〒348-0047 羽生市大字下新郷 666 Tel.048-560-5866

「悲しみの子どもたち」

施設長 須藤三千雄

ふれんどに赴任する前は、児童自立支援施設に29年間勤務していた。埼玉県の子童自立支援施設は、問題行動を繰り返す子どもたちを、一組の夫婦が自分の家族と共に施設に住み込み、開放的な雰囲気の中で、生活指導や学習指導・職業指導等で社会的な自立を目指す施設である。

当時の子どもたちから時々手紙が届く。その子どもたちも年長者は50歳以上になっている。結婚したこと、出産したこと、失業中であること、子育てで苦労していること、服役中であること…さまざまな人生のエピソードや近況を知らせてくれる。その手紙を読んでいつも感じることは、それぞれに苦労しながらも、少しずつ大人になって頑張っているな—ということである。

最近の問題行動を繰り返す子どもたちの特徴は、低年齢化と非行の一般化である。私の担当した児童の中には、初発年齢が6歳という男児もいた。その年齢への驚きと同時に、その動機や行動に対する不可解さを感じたことを鮮明に覚えている。問題行動は「加害的側面」で、それぞれの時代を反映してクローズアップされてきた。

近年、児童を巡って社会を大きく揺り動かしている問題がある。それは児童虐待の問題だ。

私は、児童自立支援施設・児童相談所・児童養護施設の仕事を通じて、この児童虐待と問題行動を繰り返す子どもたちは密接な関係にあると思っている。問題行動を繰り返す子どもの多くは、幼いころに児童虐待を受けて育ってきている。身体的虐待だけではなく、心理的虐待も少なくない。最近のマスコミ報道では、親が子どものために行った「善意の虐待」（子どもの意見表明権を尊重しない親の養育等）が背景にあるとも言われている。全く別々に報道されている被虐待児と問題行動を繰り返す子どもたちだが、10年以上にもわたる時間を隔ててはいても、一連の繋がりがあがる問題であると思う。そこには、もう一つの「被害的側面」が理解できる。

この二つの側面は、時間的な差があっても表裏一体の関係であり、分かちがたく結びついている。投げやりで心を失った子どもと接し、夫婦で手探りで関わり長い月日の後に、思いやりや温かな心を回復していく子どもの笑顔に接するとき、子どもをここまで追い詰めた、我々大人側の社会の問題点を感じないではられない。

ふれんどの子どもたち、特に幼児さんは実に人間らしい表情で生活を送っている。澄んだ瞳や満ち足りた表情に魅せられることが多い。時には大きな声で泣き叫ぶ小悪魔のようなこともあるが微笑ましい限りである。そうした子どもの天使のような心を、そのまま守って大人になることはできないにしろ、新聞報道されるような、人の命を奪っても涙をこぼさないような冷酷な大人にはしたくないし、それは少なくとも本人が望んだことではないと確信したい。

家庭復帰や里親委託した子どもたちが、様々な理由で施設に戻ってくることがある。子どもたちの再入所が、我々に何を教えてくれたのか、我々の支援に欠けていたものは何かと真摯に向き合いたい。ふれんどを「悲しみの子ども」から「生きる勇気のある子ども」の場所にしたい。

Kちゃんとの出会い

あすなろ 荻原明美

私がふれんどに入職（平成19年10月）して、A棟を担当することになりました。当時Kちゃんは4歳でした。Kちゃんはふれんどが開所した年（平成18年）の9月に入所していました。人懐っこくて目がクリクリした、とても元気の良い活発な女の子でした。A棟にはKちゃんを含め、7名の児童が生活をしていました。年上児からはよく、「うるさい!!」「黙れ!!」等と怒られることが多く、その度にビクビクしていましたが、それも一瞬で、すぐにバタバタ走り回っている状態でした。食事中も落ち着きがなく、多弁でした。多動・多弁・落ち着きのなさから、ADHD（注意欠陥多動性障害）ではないかと考えられ、施設内の心理士によるカウンセリングや、小児医療センターの通院を行ってきました。

「反応性愛着障害」と診断され、Kちゃんの場合「誰にでも関わるタイプで人見知りせず、表面でさらっと付き合っている。多動性、衝動性、不注意はADHDっぽい。愛着障害からきているADHDではないか。後天的なものが大きく、改善の可能性はある。中でも自尊心の乏しさ、自己肯定感の乏しさがある。今後の対応として大人との関係（二者関係）を作り、情緒的な関わり、本児の気持ちに共感できる関わりを持っていく事（不安な気持ちを受け止められた感→ほっとした→クリアされたと感じる事）」と言う。また、「これからKちゃんを見ていく上で、重たくなっていくだろう。手がかかることが増えていくだろう」と話されました。

小学1年生頃から甘えが出てきて、抱きつき・抱っこを求めてくるようになりましたが、行動は変わらず、他の児童からの攻撃は強くなり、Kちゃんは増々反抗的な態度を取るようになりました。私に対して、ぐずり・ぶつかり合う事も増えてきました。毎日どんな試行動をするのか「どうせ私の気持ちなんかかわからないでしょ!!」と怒り、度々口論となりました。

Kちゃんの感情がピークを過ぎると、「ごめんなさい」と謝ってきていました。Drや心理士から、「Kちゃんの良い育ちに向かったの、一番苦しい時期。O職員しか見えていない状態で、愛着関係を求めている。他職員にとって関わりづらさもあるだろうが、諦めず、関わりを続けてほしい」とアドバイスを受けました。

小学3年生の後半頃から、ぐずりを減らしていこうと話し、その都度誉めていきました。徐々にぐずる事が減り、私との関係（二者関係）も改善され、「行動を誉める→ほっとした→クリアされた」のサイクルになってきました。今ではKちゃん（小4）から「ギョッとして」「大好きだよ」と言われ、ギョッとしてあげる事で安心した生活が送れるようになってきました。他児童とも仲良く遊べるようになり、落ち着きも出てきました。去年の11月にDrから「よくここまでできました。Kちゃんは頑張った。職員さんも頑張った」と誉めていただきました。

Kちゃんと出会って6年、改めてKちゃんが良くここまで頑張ってくれたと感心させられます。私も節目、節目にDrや心理士から助言をもらい、見通しをもってKちゃんと向き合う事が出来たと思います。また、周りの職員も関わりづらさを感じたことでしょう。状況を理解され、協力してくれたことも良い方向に結びついたと思います。

これからもKちゃんの成長を見守っていきたいと思います。

ふれんどの食育

手作り体験

今年度は食育に力を入れました。厨房職員の荻原さんを講師に、小学生は『レアチーズケーキ』中高生は『シュークリーム』を作り、あまりしない体験に、皆楽しんでいました。ピザ作り体験も行い、棟ごとにトッピングをし、色々なピザが出来ました。これからも、手作り体験を通し、食への感謝の気持ち育てていきたいです。

子どもたちの感想

トッピングがたのしく、たごす。まがのクッキーがかあいか、たごす。しもこがおいしいです。(小2)Y.H

おいしくできてうれしかったです。またちがうのを作りたいです。(小1)R.A

カレーのあじがよかった。ピザがおいしかった。もう一回作りたいです。A.S (小1)

おもちつき

毎年恒例のふれんどもちつき大会を2013年12月27日に行いました。天候が心配されましたが、雨が降る事なく実施できました。厨房職員が腕をふるって、あんこ・納豆・辛味・きなこ・雑煮の5種類を用意しました。いつもより柔らかく、子どもから大好評でした。

子どもたちの感想

わたしは、だいごんのもちを食べるととてもおいしかったです。来年は、ちぎをつきたいです。(小4)H.H

のりからかもしろかった。やわらかかったからおいしかったです。(小1)Y.H

初めてなるもちをたべるとおいしかったです。他のもちも、もちもちでいいです。かき揚げもおいしいです。来年は、ちぎをつきたいです。(小2)K.H

お正月のバーベキュー

1月1日には、朝食におせちを食べ、昼食には、食券方式で食事会をしました。メニューは焼きそば・たこ焼き・バーベキュー(野菜と肉)・フルーツ・やきとり等...でした。職員の団結力で調理し、子どもたちからも大好評で、最後に作ったソバめしも、すぐに完食しました。

子どもたちの感想

たこ焼きとか作る側にもなれて、まごころ楽しかった！(小4)H.A

お肉や、やきそばは、すすぐおいしかったです。みんな、たのしくバーベキューができて、とても楽しかったです。(小1)R.S

もちと量も多く、とてもおいしかったです。正月は、もちがおいしいです。今年度は、なげが、とてもおいしかったです。(小2)K.H

ほっと一息できる事務所。。

いつも職員がほっと一息できるような空間を作ってくれる内田事務員。
 手作りのぬか漬けやお菓子がとても好評です！
 そんな内田さんに質問。。

- Q1. 得意なお菓子はなんですか？
 モンブラン・パウンドケーキです。
- Q2. お宅にぬか床があるのですか？
 はい…。
- Q3. 休みの日は何をしていますか？
 掃除したり料理（一日中
 台所にいる時もあります）したりしています。
- Q4. どんな幼少期を送ったのですか？
 …飲食店で働きたって
 思った事もありましたや…
 いたずらっ子でした。

～食べた職員からの感想～

内田さんが作って来て下さる
 ケーキやお漬物はとっても
 おいしくて、その腕前には
 いつも感心しています。(飯田)

いつもおいしいお菓子等を
 ありがとうございます。ホッと
 一息つける時間になっています。(小池)

内田さん、いつもおいしいお菓子とお
 つけものごちそうさまです。いつも和みま
 す。ありがとうございます。(嶋村)

知っていますか？ 7つの"ごしょく"



- 孤食** → 家族が不在のため、ひとりで食ベること。
- 個食** → 家族がそれぞれ、自分の好きなものを食ベること。
- 固食** → 自分の好きなものばかり食ベること。
- 小食** → いつも食欲がなく、食ベる量も少ないこと。
- 粉食** → 粉製品を主食として食ベること。
- 濃食** → 味の濃い物を食ベること。
- 子食** → 子どもだけで食ベること。

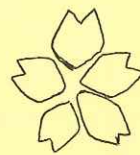
食事は、
 小さい頃からの
 積み重ねが大切ですよ！
 おいしく、楽しく食ベること、
 "人"が育ちます！



八嶋 美

卒園する子どもたち

今年ふれんどを卒園し、新しい生活をスタートさせる子は3名です。
卒園する子たちに意気込みや思いを聞いてみました。



私はこの四月に自立します。ふれん
ど生活は長か、たのび、ひとりぐらし
は楽しいです。でも困、た時は姉や、
職員に相談していきたいと思います。
頑張ります。 18才 M.M



ふれんどに来て7年とちよつとになり
色々な思い出を作ることが出来てよか
なです。面倒な事はかかっただけ
けど、ちゃんと叱ってこまめに
こうましが、たです。
ちよつとは、まともな人になれたと思
います。
ふれんどに来てよか、なです。
19才 S.T

5年間お世話になりました。
入社して一人前の職人にな
ります。 19才 K.M

昼間保育

秋～冬への出来事



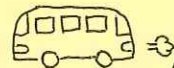
芋掘り

地域の方々の御協力により芋掘り体験をすることが出来ました。自分の顔より大きい芋を持ち上げ「やった〜」と満面の笑顔でした。



遠足

「ふれんど」みんなで出かけた・那須ハイランドパーク、事前に「あれ乗りたい」「これ乗りたい」とワクワクドキドキ寒さなんて何のその秋の一日を十分に満喫してきました。



クリスマス会

みんなでまねき猫と4ビサンタに変身。くわの実のおじいちゃんおばあちゃんの前でもしっかり踊ることが出来ました。喜んでもらえて良かったね。



そして今...

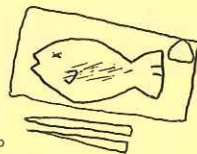
がんばり賞授与式に向けて歌や踊りの練習中
小学校へ行く仲間のために素敵な式になるよう頑張っています。

今年度も楽しいことがたくさんありました。10人の子どもたちは一つ大きくなることを楽しみに最後の締めくくりを頑張っています。支えて下さった皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。





あすなろの食事



「今日のごはんはなに?」「魚だよ」「えー魚か…」とがっかりする子。

「ロールキャベツだよ」「いっぱい作ってね」と喜ぶ子。

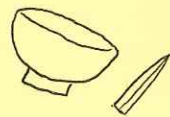
あすなろでは、魚が苦手な子が多いですね。毎日こんなやりとりをしています。献立は職員が立て、子どもたちのリクエストも入れています。時には、子ども自ら作りたいメニューを出し、職員と一緒に作ったりしています。女の子は何かと厳しいチェックがあり、「今日の給食に出ていた」「油っこい」「う!!まずい!!」と即答してきます。子どもの反応を見て献立から消えたメニューもあります。子どもたちの好きなものとばかりはできませんが、食事のバランスを考え、また職員の力量(3名の職員が交代で作っています)も考慮して献立を立てています。

研修会などで、よく「食の大切さ」が話されます。「食事を共にする」「暖かい食事を」と、地域小規模ならではのメリットを生かし、子どもの生きる力になるような食事をしていきたいと思います。

(文責: 荻原)



食について ~ ししかぼ ~



食べることは、生きる源です。食べるから元気にいられる、病気にも打ち勝つことができる。踏んばることができる…。そういうエネルギーの一つです。

ししかぼでの食事は、ボリューム感(男の子のため)と彩りをなすべく多くの野菜を摂れるように考えています。又、魚離れと言われていますが、魚をメインの日も週の半分、作っています。

子どもから「おいしいね。手紙作ってね。」と言われることを励みに、楽しい食事、愛情のこもった料理を心掛けています。

心理士から

賞 賛 と 罰

なんだかドストエフスキーの小説の様な題名であるが、今回は子ども養育方法（しつけ）について考えてみたい。これは子どもの養育の過程でよく使われる手段である。

アメリカのハーロックという教育心理学者は誉めることと叱ることについての実験をしている。これは学習についての実験であるが、養育全般についても当てはまることである。

まず、学習の能力が同じ者を（誉めるグループ）（叱るグループ）（放任グループ）の3グループに分ける。そして、テストを繰り返して行って、その変化を比較するというものである。

誉めるグループはテストの結果、常に誉めて励ますことを繰り返す。叱るグループは、逆に叱り続ける。放任グループはテストの結果には全く関心を示さず放っておく。その結果、誉めるグループは毎回結果が上昇していく。叱るグループは叱られた後1回目だけは結果が上昇するが、その後は徐々に下降現象となる。放任グループもその後1回目は頑張るが、後は、3つのグループの中で最も下降現象が大きかったという。

なるほどと考えさせられる結果である。子どもに意欲を持たせる（やる気を出させる）のには誉めて励ますことが最も効果的な方法であることが実証された実験である。これは年齢の小さい子ほど効果が大きい。

もちろん、子どもが人としてやっていけないこと（絶対に禁止したいこと—たとえば、人の者を盗む、人を傷つけるなど—）には厳しく叱る必要がある。ただ、叱る場合には、子どもの性格や能力が劣っているような叱り方や他の子と比較したような叱り方は良くない。子どもの間違った行動、態度そのものを叱ることが大事なことである。また、しつこい叱り方は、かえって反感を持たれることがあるので注意しなければならない。体罰は人の心を傷つけるだけの最も愚かな行為である。

私たちは、誉めることと叱ることの使い分けがヘタの様な気がする。特に誉めて育てることの有効性をもう一度認識したいものである。

（守屋昭一）

日誌

※毎月、職員会議・自立支援検討会議を実施
※随時、職員研修を実施

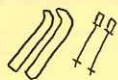
12月

4~7日：誠和高 修学旅行
16日：川俣小 校内書きそめ展
23日：ふれんどクリスマス会
24日：小・中・高等学校 終業式
27日：ふれんど もちつき大会



1月

2日：初詣(小松神社)
7日：小始業式
8日：進修館 誠和 始業式
9日：手子林小 校内書初展
26~28日：南中 スキー学校
29~31日：西中 スキー学校
30日：新二小 5,6年社会科見学
31日：西中 2年校外学習



2月

2~4日：東中 スキー学校
3日：ふれんど節分
25日：手子林小 PTA
26日：川俣小 PTA
27日：新二小 PTA



3月

3~4日：公立高校入試
4日：川俣小 手子林小 卒業を祝う会
ふじ高 3年生を送る会
5日：南中 3年生を送る会
5日：新二小 卒業を祝う会
7日：西中 東中 3年生を送る会
10日：公立高校入学許可候補者発表

11日：進修館 卒業式
13日：誠和高 卒業式
14日：中学校 ふじ高 卒業証書授与式
24日：ふじ高 誠和高修了式
25日：新二小 川俣小 卒業証書授与式
27日：新二小川俣小南中 修了式

いつも温かいご支援ありがとうございます
~寄贈品~

石井年夫、新郷公民館長、井田幸子、山形
ヤマラク、吉岡一孝、小林静子、田尾和子、
臼倉文明、漆原弘一、宮崎尚政、中野典子、
岡戸郵便局、岡戸経子、秋元浩・千恵子、
久保接骨院、島田精肉店、岸清志、角田巴
津子、木村茂子、荒井道子、岡戸富見子、
尾城孝子、小林静子、鎌田悦子、小茂鳥鈴
子、岩浅尚子、河田美登里、佐藤協子、斉
藤ひろ子、金子洋子、黒木圭子、小笠原勝
美、内海哲也(巨人)、斉藤悦也、荻原(大光
院)、グリーンショップしみず、(株)ヒロシ
マ、ライフガーデン行田、セカンド・ハー
ベスト・ジャパン、フードバンク北関東、
朝日自動車、和田百貨店、三国コカ・コー
ラボトリング(株)、松本牛乳店、羽生市体育
振興会、日本鏡餅組合、(株)カネマス、埼玉
県社協ヤクルト、木村周作商店、比賀電機、
いわつき施設長、日本出版クラブ埼玉県書
店商業組合、創成社、ロアール、イケア新
三郷、カサモスポーツ、毎日新聞東京社会
事業団、(株)プレナス、羽生おもちゃの病院、
ケヤキホーム (敬称略・順不同)
<編集後記>

立春を過ぎましたが、例年にはない程の大
雪も降り、子どもは大喜びで雪遊びをしまし
た。これから、行事もありますので体調崩さ
ずに過ごして欲しいです。担当：木村・黒田